

令和6年度第2回福生市交通安全対策協議会会議録（概要）

開催日時	令和7年3月25日（火） 午後2時00分～午後2時26分
開催場所	もくせい会館 3階会議室
出席者	委員17名（欠席7名） 事務局4名
配布資料	令和6年度第2回福生市交通安全対策協議会次第 資料1 令和6年度福生市交通安全対策協議会委員名簿 資料2-1 令和7年春の福生市交通安全運動実施要領（案） 資料2-2 令和7年春の全国交通安全運動重点設定理由 資料2-3 令和7年度春の交通安全運動及び交通安全日推進要領（関係機関等） 資料2-4 令和7年春の全国交通安全運動（パンフレット） 資料2-5 春の交通安全フェスティバル（チラシ） 福生警察署交通事故発生状況等資料 福生消防署火災発生状況等資料
次 第	1 開会 2 会長挨拶 3 議題 （1）令和7年春の福生市交通安全運動実施要領（案）について （2）交通事故発生状況について（福生警察署より） （3）火災発生状況等について（福生消防署より） （4）その他

【 議題 】

（1）令和7年春の福生市交通安全運動実施要領（案）について 【資料2-1～資料2-6】

この実施要領（案）は、国や東京都で決定された推進要領等に基づき作成している。

1 目的

市民一人ひとりに、交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールへの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけるとともに、市民自身による道路交通環境の改善に向けた取組を推進することにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的とする。

2 運動期間

令和7年4月6日（日）～4月15日（火）の10日間

※春の全国交通安全運動にあわせて行うもの。

3 運動の重点（東京都の重点項目に合わせた）

- 1 こどもを始めとする歩行者が安全に通行できる道路交通環境の確保と正しい横断方法の実践
- 2 歩行者優先意識の徹底とながら運転等の根絶やシートベルト・チャイルドシートの適切な使用の促進

- 3 自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルールへの遵守の徹底
- 4 二輪車の交通事故防止

4 運動名及びスローガン

運 動 名：令和7年春の福生市交通安全運動

スローガン：世界一の交通安全都市T O K Y Oを目指して（東京都に合わせた）

5 重点に対する主な推進事項

「1 こどもを始めとする歩行者が安全に通行できる道路交通環境の確保と正しい横断方法の実践」

令和6年中に都内で交通事故により亡くなられた方は146人で、そのうち歩行中の割合が62人、42.5パーセントと最も多く、1人が子どもで、35人が65歳以上の高齢者となっている。

都内の歩行中の負傷者は、重傷者523人、軽傷者4,520人の計5,043人で、そのうち子どもの負傷者は554人、高齢者の負傷者は1,275人となっている。

次世代を担う子どものかけがえのない命を社会全体で守ることは重要で、特に新学期の始まる4月から6月にかけての登下校中の子どもの事故が増加傾向にあることから、子どもが安全に通行できる道路交通環境を確保するとともに、すべての歩行者に対し、正しく安全な横断方法を実践してもらうことが必要である。

これらのことから、子どもの登下校時や子どもが日常的に利用する生活道路等における見守り活動等の推進、歩行者への基本的な交通ルールや歩きスマホの危険性の周知等の推進、保護者や教育関係者からの幼児・児童への安全教育の推進、高齢者が加齢に伴う身体機能変化を理解した安全な交通行動を実践するための安全教育の推進、全ての年齢層に対する反射材着用の推進等、「ア」から「カ」に記載の6項目を推進したい。

「2 歩行者優先意識の徹底とながら運転等の根絶やシートベルト・チャイルドシートの適切な使用の促進」

歩行中の死亡事故の多くが道路横断中に発生しており、その多くは自動車側の法令違反によるもので、近年、携帯電話等を使用しながら車を運転する「ながら運転」や、「飲酒運転」、「あおり運転」と呼ばれる妨害運転など、悪質で危険な運転による交通事故が後を絶たない状況である。

また、後部座席のシートベルト着用者率がいまだに低調であることや、チャイルドシートの使用者率は増加傾向にはあるものの、年齢が高くなるにつれて着用率は低くなり、5歳児の使用率では6割を切る状況である。

このほか、75歳以上の高齢運転者によるハンドル操作ミスや、ブレーキとアクセルの踏み間違いなどによる事故にも留意が必要となっている。

これらのことから、運転者に対する交通ルールの遵守と、安全運転意識などの向上のための交通安全教育や広報啓発の推進、運転中の携帯電話等の通話や注視の危険性についての広報啓発の推進、業務に使用する自動車使用者のアルコール検知器を用いた酒気帯び確認に関する広報、悪質・危険な運転の防止とドライブレコーダーの普及促進等に関する広報、高齢運転者が加齢に伴う身体機能の変化が運転に及ぼす影響などの安全教育の推進等、「ア」から「ク」に記載の8項目を推進したい。

「3 自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守の徹底」

自転車乗用中の交通事故による死亡者の 64 パーセントが頭部に致命傷を負っていることから、ヘルメットを正しく着用して頭部を守ることが重要である。また、自転車側に交差点の安全進行や信号無視などの法令違反が多く認められる。

さらに、道路交通法が改正され、令和 6 年 11 月 1 日から自転車運転中に、スマートフォンなどを手に持って通話したり、画面を注視したりする「ながらスマホ」や、自転車の「酒気帯び運転」のほか、自転車の運転手だけではなく酒類の提供や同乗・自転車の提供に対して新たに禁止となり、罰則の対象となった。

特定小型原動機付自転車については、16 歳未満の運転禁止や車道通行の原則など、利用者には交通ルールを理解した上での安全な利用が求められ、ヘルメットの着用についても努力義務となっている。

このため、自転車と特定小型原動機付自転車の利用者に対し、ヘルメットの着用と交通ルール遵守の徹底を促していくことが必要であることから、全ての自転車利用者と特定小型原動機付自転車利用者に対し、正しいヘルメット着用の促進、交通ルール遵守の徹底等、「ア」から「カ」に記載の 6 項目を推進いたしたい。

「4 二輪車の交通事故防止」

令和 6 年中の都内における交通事故による死者 146 人のうち、原付を含む二輪車の死者は 38 人と全体の約 3 割を占めており、交差点での右折時の事故や単独事故の割合が多く、また、二輪車は身体が露出するため、万一の事故に備えてヘルメットの正しい着用や胸部プロテクターの着用などの啓発を行う必要があることから、「ア」の二輪車の特性の周知や、ヘルメットの正しい着用とプロテクター着用の推進、「イ」の全ての二輪車利用者に対する交通マナーと安全利用の推進の 2 項目を推進いたしたい。

※資料 2-2～2-4 は東京都より送付のあった令和 7 年春の全国交通安全運動に関する資料で、後程御確認いただくこととした。

【お知らせ】

・春の交通安全フェスティバル」(福生警察署管内) 【資料 2-5】

令和 7 年 3 月 29 日(土) 午後 1 時 30 分 プリモホールゆとろぎ 大ホール(羽村市)

第一部 式典

第二部 アトラクション

- ・JAF 講師による交通安全講話
- ・福生署員による交通安全教室
- ・福生交通少年団による鼓笛演奏
- ・東京ミッドウエスト吹奏楽団ジュニア部による演奏

→ 「令和 7 年春の福生市交通安全運動実施要領(案)」の決定により「(案)」削除

(2) 交通事故発生状況について(福生警察署 交通課長より) 【福生警察署資料】

交通事故発生状況について、福生警察署より情報提供

(3) 火災発生状況等について(福生消防署 警防課長より) 【福生消防署資料】

火災発生状況等について、福生消防署より情報提供

(4) その他

「福生市子ども及び高齢者自転車ヘルメット購入費用助成」の現在の状況について
(道路下水道課長より) 【資料なし】

福生市では、令和5年度、6年度の2か年で、自転車ヘルメットの普及促進及び交通事故による被害の軽減を図るため、自転車ヘルメットの助成を行っている。

助成額：対象者一人につき1回、1個に限り上限2,000円

対 象：市内在住の18歳以下(通常高校生以下の子ども)と、65歳以上の高齢者で、SGマーク等、安全基準に適合した新品のヘルメットを、令和5年4月1日から令和7年3月31日までに購入した市税の滞納がない方

年齢制限を設けていない自治体も多いが、そのほとんどが先着順、予算の範囲内など、助成件数の制限を設けている。福生市では、「第2次福生市交通安全計画」の主要施策である、子ども及び高齢者の交通事故防止対策の取組として、運転技術の未熟な子どもや身体的能力の衰えのある高齢者に対し、自転車ヘルメットの普及促進及び交通事故による被害の軽減を図るため、件数の制限を設けずに助成している。

令和5年度助成実績 子ども256件、高齢者497件、合計753件

令和6年度助成(2月末日現在) 子ども156件、高齢者130件、合計286件

3月は昨日(24日)までで56件の申請を受け付けており、2年間の合計は、1,100件を超える見込み。

令和6年度で自転車ヘルメットの助成事業が終了となることから、3月1日号の広報やホームページ等で終了となる旨を周知している。

自転車ヘルメット助成事業は終了するが、引き続き自転車ヘルメット着用と自転車の交通ルールの遵守について、周知徹底に努めていく。

閉会